

平成29年第4回幸手市議会定例会 市政に対する一般質問通告書（通告順）

発言 順位	議席 番号	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	15	大 平 泰 二	1 九郎右エ門集会所 市補助金 不正交付について	<p>(1) 江戸川堤防強化工事にともなう九郎右エ門集会所移転工事に対し、国土交通省から損失補償費として765万8528円が支払われている。集会所損失補償費は国が復元可能な費用として補償したものと認識はあるか。今回の集会所補助は市の補助交付要綱を遵守したか伺う。</p> <p>(2) 建設費931万1052円（平成26年3月24日）が1265万7600円（平成27年10月30日提出）にいたった協議の経過と明細項目の比較について、説明を求める。</p> <p>(3) 平成27年10月30日付けで九郎右エ門自治会から提出された申請書（建設費1265万7600円）の二ヵ月半後の平成28年1月15日に工務店から見積が同額で出されている。このことについて市は「当初概算で受け付けた」としているが、概算がなぜ同額として正規の価格となったのか。</p> <p>(4) 集会所建設費1265万7600円の内、九郎右エ門自治会自己負担金376万1662円とされているが、地元事業報告書（平成29年3月24日付添付資料参照）にはこの記載がなく、建設費合計も違っている。市は「9月議会で確認する」と答弁されているが、その後どう調査されたか報告を求める。また、「聞き取り調査」をしたとしているが、何時、誰が、誰に行ったか報告を求める。</p>

			<p>2 市民要望</p> <p>3 市長の外遊（任期中）とその期間の電話発・着信記録</p>	<p>(5) 平成28年1月8日に市が農業委員会に提出した集会所用地の農転手続き申請書類の資金計画書には、収用移転補償費765万8528円、市補助金500万円と記載されているが地元自治会負担資金は記載されていない。この意味について。</p> <p>(6) 領収書日付が平成29年3月15日 領収額865万7600円は、集会所関係者に配布された資料（平成29年3月24日付添付資料参照）には記載がない。この記載がない事実の確認について伺う。</p> <p>(7) 新九郎右エ門集会所脇には、九郎右エ門神社が建設される予定であるが、これらの工事ともなう「政教分離」の原則について地元自治会とはどのように確認（会計処理含む）されているか。</p> <p>(1) 公民館利用申し込み期間（一ヶ月前）の変更について。</p> <p>(2) 東埼玉病院駐車場の混雑緩和問題について。</p> <p>(3) 水害対策（中5丁目周辺、ワンワン公園、牛村橋付近、大中落し左岸側）の進捗状況と予算化について。</p> <p>(1) 任期中全ての外遊時の電話記録提出は可能か。</p> <p>(2) 前回3回追加の理由について。この時日程を共に（一部含む）した議員はいるか。</p> <p>(3) 平成27年7月28日～30日までの行き先について伺う。</p>
--	--	--	---	---

			4 中島用悪水路土地改良区補助金不正請求問題	(1) 市の調査結果について。
2	3	小林啓子	1 幸手市における選挙対応について	<p>(1) 幸手市では投票率を上げるためにどのような対策をしているのかを伺う。</p> <p>(2) 先の10月22日投票の衆議院議員総選挙の投票率を伺う。</p> <p>(3) 平成23年4月の幸手市議会議員選挙からの各選挙の投票率を伺う。</p> <p>(4) 国として、先の衆議院議員総選挙では期日前投票の利用者数が2138万人に上り、過去最多を大幅に更新した。幸手市としては過去に比較してどうなのかを伺う。</p> <p>(5) 今回の期日前投票の対応の反省点と課題を伺う。</p> <p>(6) 今回の期日前投票において、季節柄夕方の駐車場が暗く足元が怖かったとの市民からの声を聞いた。今後の対応について伺う。</p> <p>(7) 期日前投票に必要な宣誓書を投票所入場券の裏面に印刷するなどの取り組みが各自治体に広がっている。幸手市としても行ったらどうかを伺う。</p> <p>(8) 投票所について、限定されずに市内の投票所に自由に行くことができないかとの声を聞いた。対応を伺う。</p>

			2 男女共同参画推進事業について	<p>(1) 本年、「幸手市男女共同参画を推進する条例」が施行されました。幸手市では現在どのような男女共同参画推進事業を行っているのかを伺う。</p> <p>(2) 第5次幸手市総合振興計画では、男女間の固定観念にとらわれない人の比率を平成30年度の目標値を60%にしている。現在の比率を伺う。</p> <p>(3) 次の第6次幸手市総合振興計画策定に向け、今後、幸手市として男女共同参画社会の推進を進めていくに当たり幸手市長のご意見を伺う。</p>
3	14	武藤 寿男	1 補助事業（補助金）に対する市の対応について	<p>(1) 平成25年度以降、補助費等の決算額が17～8億円を超える大きな額となっているが、その要因と理由について伺う。</p> <p>(2) 補助事業の目的について伺う。</p> <p>(3) 補助事業の申請から採択、補助金交付に至る経緯と審査の内容、および妥当性、公平性の確保にどのように留意されているか伺う。</p> <p>(4) 補助事業の事業報告書の審査検証は、どのようになされているか伺う。</p> <p>(5) 限られた貴重な財源のなかで、予算執行上、補助事業の効果、有効性の検証が重要と思うが、どのように検証されているのか伺う。</p> <p>(6) 不適正と思われる補助事業があると思われるが、その原因と対策について伺う。</p>

			2 公共施設等総合管理計画の実施について	<p>(1) 現在の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 計画実施に対する組織体制について伺う。</p> <p>(3) 所管課のそれぞれの公共施設の現状と将来のあるべき姿に向けた、基本整備計画は作られているのか伺う。</p> <p>(4) 実施計画はどのようになっているのか伺う。</p> <p>(5) 財源計画について伺う。</p> <p>(6) 議会等との意見集約は、どのような考えで行うのか伺う。</p>
4	1 2	青 木 章	<p>1 ハッピーハンド事業について</p> <p>2 幸手市のまちづくり目標について</p> <p>3 東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致について</p>	<p>(1) 事業内容について伺う。</p> <p>(2) 現在までの経過と評価について伺う。</p> <p>(3) 補助金の経過について伺う。</p> <p>(4) 手形等の展示保管について伺う。</p> <p>(1) 将来都市構造の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 特に道路整備目標の整備状況と今後の見通しについて伺う。</p> <p>(1) 事前キャンプ地誘致に対する対応と現状について伺う。</p>

5	5	本 田 謡 子	<p>1 市の防災について</p> <p>2 水害の啓発について</p> <p>3 市内にある公園について</p>	<p>(1) 防災・防犯情報メール配信の登録者数を伺う。</p> <p>(2) 浸水・冠水・通行止めの規定を伺う。</p> <p>(3) 市の防災訓練の方向性と自主防災組織に対する考え方を伺う。</p> <p>(4) 緊急時、市職員の体制や環境は万全か伺う。</p> <p>(1) カスリーン台風の記憶を風化させないために、電柱に赤い線が記されていたが、幸手市の現状を伺う。</p> <p>(2) これからの対策があれば伺う。</p> <p>(1) 公園の主な利用者と状況を伺う。</p> <p>(2) これからの公園の活用方法などを伺う。</p>
6	9	小 林 順 一	<p>1 姉妹都市、友好都市の締結について</p> <p>2 消防団員の増員強化について</p>	<p>(1) 幸手市がこれまで国内外の都市との姉妹都市、友好都市を結んでこなかったことを市長はどのように考えるか伺う。</p> <p>(2) 幸手市では災害時提携都市として今後富岡町との関係をどのように考えているのか市長に伺う。</p> <p>(3) 公明党が毎年重点施策要望項目の中に速やかな姉妹都市、友好都市の締結を結ぶべきと提案、要望をしてきたが市長の所見を伺う。</p> <p>(1) 幸手市の消防団員の各団の人数と平均年齢を伺う。</p>

				<p>(2) 各団で日中有事の時、即集合活動できる想定数を伺う。</p> <p>(3) 市内大学生を機能別消防団員に募集を（大学生機能別消防団員制度）提案するが所見を伺う。</p>
7	4	小河原浩和	<p>1 ボランティア活動のポイント制度導入について</p> <p>2 3回目の成人式について</p>	<p>(1) 全国的にボランティア活動を行った人に、その対価としてポイントを付与する制度が広まっている。市は、どの程度そのような制度を把握しているか伺う。</p> <p>(2) 特に、65歳以上の元気な方に本人の介護予防を含めた、介護支援ボランティアに対しポイント制度を導入している自治体があるが市の見解を伺う。</p> <p>(3) 今後、そうした制度を導入するにあたり、課題や問題点を伺う。</p> <p>(1) 第1回目の還暦式（3回目の成人式）が挙行されたが、市としての成果や反省点を伺う。</p> <p>(2) 今後の展望や展開を伺う。</p>
8	2	大山重隆	<p>1 幸手市第6期介護保険事業（平成27, 28, 29年度）を振り返って</p>	<p>地域包括ケアシステム（医療・介護・予防及び生活支援・住まいの各サービスを一体的・継続的に提供する。）の実現を図るのが本事業の目的であるが、以下の第6期事業の5本の柱についてその成果を伺う。</p> <p>(1) 介護予防・日常生活支援総合事業への取り組み。</p> <p>(2) 生活支援サービスの充実。</p>

			<p>2 地域ケアシステムの推進・強化について</p> <p>3 幸手市第7期介護保険事業計画（H30, 31, 32年度）策定について（地域包括ケアの深化から、地域共生社会の実現へ）</p>	<p>(3) 在宅医療・介護連携の推進（H30. 4より埼玉県→幸手市へ）。</p> <p>(4) 認知症対策・予防の推進。</p> <p>(5) 高齢者の住まいの確保。</p> <p>(1) 平成29年2月に国会において「地域包括ケアシステム強化法」が採択され、幸手市においても平成28年12月22日に市議会で「地域包括ケアを求める決議」が採択されている。国・市議会の要請に対し、市長はいかなる決意を持って地域包括ケアシステム（市民が24時間365日安心・安全に暮らせる為に）の実現に取り組むか伺う。</p> <p>(1) 事業計画の策定において、幸手市の現状把握の為に市民アンケート調査が行われたが、その分析から幸手市の特色、課題について伺う。</p> <p>(2) 地域共生社会の実現において、ともに支え合う地域社会づくり、市民の主体的な協働が必要と考える。今回の計画において、生活コーディネーター、地域福祉コーディネーター等の役割が期待されているが、幸手市での取り組みを伺う。</p> <p>(3) 限られた市財源において、介護ボランティアの活躍が求められる。他市ではシステム化（稲城市、春日部市等）されているが、幸手市での取り組みを伺う。</p> <p>(4) 地域共生社会の実現において、介護と福祉からの連携したアプローチが必要と考える。他市でも行われているように「社会福祉協議</p>
--	--	--	--	---

				<p>会」と「基幹地域包括支援センター」の役割を統合した「地域包括ケアセンター」（公的）設立も一案と考えるが、市長の考えを伺う。</p> <p>(5) 地域包括ケアシステム確立において、入所施設（幸手市は特養2法人）を中心にして、そのまわりに地域密着型の訪問・通所・在宅系事業所（定期巡回・小規模多機能等）配置し、介護の複合体として機能させるのも一案と考えるが意見を伺う。</p>
9	7	宮 杉 勝 男	<p>1 幸手市役所入口交差点の右折禁止解除の件</p> <p>2 アスカル幸手の駐車場不足解消の件</p> <p>3 治水対策の件</p>	<p>(1) 現在の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 今後の予定又は見通しについて伺う。</p> <p>(1) 解消に向けての現在の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 今後の予定又は見通しについて伺う。</p> <p>(1) 市内全体の治水対策について専門家による調査を行った結果を伺う。</p> <p>(2) 雨水を田んぼに一時保水する方法について視察に行った内容を伺う。</p> <p>(3) 新規開発された住宅地において浸水被害が発生しているが、事前対策を考えているか伺う。</p> <p>(4) 水の流れについて専門的に研究している機関（意見を求めることができる所）があるか伺う。</p>

10	8	木村治夫	1 地域安全活動の充実について 2 観光の振興について	(1) 自主防犯団体数について伺う。 (2) 過去5年間の犯罪件数について伺う。 (3) 防犯パトロールの実施回数について伺う。 (4) 市防犯のまちづくり推進条例に基づく活動状況について伺う。 (5) 安心できる住環境の整備の課題と対策について伺う。 (1) 観光施設とルートの整備について伺う。 (2) 権現堂調節池（行幸湖）の観光資源としての活用策について伺う。 (3) まちなか回遊型観光の進捗状況について伺う。 (4) 観光物産の発掘・開発について伺う。
11	6	松田雅代	1 全国学力状況調査結果分析について	(1) 平成29年度全国学力状況調査の詳しい分析結果を伺う。 (2) 特に、正答率の高い問題、低い問題、無回答の状況はいかがか。 (3) 平成26年度までは調査結果の概要とともに各教科の結果概要によって課題や今後の指導方針等が公表されていたが、平成27年度以降は正答率のみの公表となっている。公表方法を変えたのはなぜか。

			<p>2 子どもたちの放課後のあり方について</p> <p>3 市立吉田幼稚園について</p> <p>4 高齢化が進むニュータウンへの対策について</p>	<p>(1) 「放課後子ども総合プラン」について詳細を伺う。</p> <p>(2) 市では児童の総合的な放課後対策は検討されているか。</p> <p>(3) 中学生について、特に中学3年生の部活引退後の放課後指導の状況を伺う。</p> <p>(1) 現在進行中の同幼稚園の存続に関する審議状況を伺う。</p> <p>(2) 教育審議会の議事録は公開されないのか。</p> <p>(3) 地域住民には、園児の減少を理由に存否を議論する前に、園児の募集方法、運営方法等の工夫や研究によって持続的発展を求める声もある。丁寧な議論が必要ではないか。</p> <p>(1) 埼玉県内には昭和から平成にかけて開発された多くのニュータウンがある。そして、その多くが高齢化を迎えている。今般、「彩の国 人づくり広域連合」がニュータウン研究で香日向地区を取り上げた。その結果、香日向地区は年少人口と高齢者の比率が約6.8倍で県内ニュータウン中ワースト2位、人口に占める高齢者の割合（高齢化率）は30%以上、過去10年間で10～29歳の50%の若者が流出。結果、年少者と高齢者の比率が約6.8倍で、県内ニュータウンではワースト2位、総じて、「県内消滅可能性ニュータウンランキング」2位ということが明らかにされ、地元の住民は大きなショックを受けている。市はこのような事態を把握しているか。</p> <p>(2) 今後、市としてどのような対策が必要か。</p>
--	--	--	---	--

			<p>5 水害対策の今後の推進について</p> <p>6 広域行政の推進、広域的な連携強化について</p>	<p>(3) 市内には香日向地区だけでなく、農村部や他の地区でも高齢化率が高じている地域があるが、今度、どのような政策を展開して行くのか伺う。</p> <p>(1) 先般の台風21, 22号では、市内各所で冠水、浸水被害が発生したが、中でも下川崎・中5丁目境界周辺は早い時間から冠水が始まり、長時間にわたって引かず、地域の住民は疲労困憊している。この地域の冠水・浸水要因は何か。現地調査は行ったか。対策を伺う。</p> <p>(1) 市が総合振興計画において目指す広域行政の確立。具体的成果を伺う。</p> <p>(2) 今後どのような自治体と連携強化を考えていくのか。その戦略を伺う。</p>
12	10	中村孝子	<p>1 地区市民センターの運営活用について</p>	<p>当センターは「住民のニーズに応じた地域づくりの支援及び行政サービスの提供を行う」を目的に公民館に併設された。28年度成果表にも、各種証明書の発行など行政サービスが出来るようになり、簡易印刷機の設置により自治会活動の支援に寄与したとある。</p> <p>そこで、</p> <p>(1) 28年度及び29年度の証明書の発行状況、簡易印刷機の利用状況を伺う。</p> <p>(2) 地域づくりの支援の状況を伺う。</p>

			2 公共施設等総合管理計画について	(1) 実施計画策定の進捗状況を伺う。 (2) 庁舎整備計画の進捗状況を伺う。
--	--	--	-------------------	--